200字作文

関西学院大学工学部情報工学課程3回生

37022490　安東聖祐

私はプログラミングを用いて人々の悩みを解決できるようなエンジニアになりたいです。高校生の頃から将来はIT系、特にプログラミングを用いて仕事をしたいという思いを抱いていました。そこから大学でのプログラミング実習などの講義を通して、問題点を解決する方法を考え、実装することに楽しいと感じるようになりました。それらを活かしてたくさんの人の悩みを解決できるエンジニアとして世界に貢献したいと考えています。

私は大学院修了後、人々を助けることができるエンジニアになりたいと考えています。そのきっかけが塾でのアルバイト経験です。私が勤務している塾では生徒を授業以外にも自習時間も管理しているのですが、が生徒に用紙に自習の希望時間を記入してもらい、希望に基づき先生方が座席を割り当てるというものです。私はこの作業を見てプログラミングを用いれば機械的に行えるのではと思い、エンジニアになり人々の作業の無駄を減らし、手助けしたいと考えるようになりました。

骨格抽出

　絵文字に変換

　絵のモチーフを検索